美濃国 大富

白山神社

Hakusan Jinja

参拝のしおり

御神紋

社殿正面

本殿

御由緒

此の地は、往古、朝廷直轄の高田勅使田の中心にあり、平安時代初期の延長五年（九二七年）に作られた美濃国神名帳に「従五位下高田明神」とあり、この地の守護神として高田明神が祀られていたとある。

清和源氏の直系である土岐頼貞は室町幕府美濃国初代守護となり、この神社近くの大富館（当時高田城と呼ばれた。東西、南北ともにおよそ三百米の正方形の広大な敷地）に住まいして、一族の氏神として高田明神を厚く信仰した。その後、その子孫も手厚く祭祀したが、伝承によると戦国時代の永禄元年（一五五八年）甲州武田軍の侵攻によって焼失した。その高田明神が当神社の前身ではないかと言われている。

白山神社の創建は不詳であるが、加賀の国の白山比咩神社のご祭神を勧請し現在地に造営されたとされ、五代将軍綱吉の時代、貞享三年（一六八七年）十二月吉日再建という棟札が残っている。

徳川時代には、幕府直轄の大森林の中にあり、境内には「玉林山龍泉寺」という神宮寺もあり、その大森林は明治時代の終わり頃まで残っていて、東西およそ二百米、南北およそ三百米（当時およそ六万六千平米）の昼なお暗い立派な森であった。

当時、当社はその中心にあり近隣近在に比類のない神社であったという。現在、二百数十米ある参道にその面影を残している。

現在の白山神社は、昭和五年に改築されたものである。また昭和三十八年には結婚式場神泉殿が併設（現在は参道の花嫁行列、神前結婚式のみが行われている）された。

昭和四十年頃、それまで大富区内に奉祀されていた日神子神社など数多の神社が境内に祀られ、地域の人々には「はくさんさま」と親しまれ、縁結び、諸願成就の総合神社として広く崇敬されている。

御祭神

くくりひめのみこと 菊理媛命（又の名は白山媛命（しらやまひめのみこと））

いざなぎのみこと 伊弉諾命

いざなみのみこと 伊弉册命

菊理媛命は、奈良時代初期の養老四年（七二〇年）に完成した古い歴史書『日本書紀』に登場する女神です。

『日本書紀』によると、天と地が初めて分かれたばかりのころ、高天原に、次々と神が出現し、高天原で最後に現れられたのが、伊弉諾命と伊弉册命の二柱の神でした。この男女の神に天神は「このただよえる国を修理固成せ」とご命じになられました。

そこで、二柱の男女の神は夫婦となられ、日本の国土を誕生させる「国生み」と、地上の営みを司る神々を誕生させる「神生み」をされました。

その後、伊弉册命が火の神をお生みになられた時のやけどで亡くなられると、悲しまれた伊弉諾命は、死後の世界である「黄泉の国」へ妻を迎えにいかれます。ところが、醜く変わられた妻の姿を見られて伊弉諾命は元の世界に戻ろうとされたため、怒られた伊弉册命は夫の後を追われます。

黄泉の国との境界で対峙されたおふたりの前に登場されたのが菊理媛命であり、伊弉諾命・伊弉册命二柱の神の仲裁をされたとされています。

その後、伊弉諾命がその身についた汚穢を筑紫国の日向の橘の小戸の檍原で禊によって祓い清められ、清めに清められたときに、天照大御神や月読命、須佐之男命がお生まれになられました。

御神徳

縁結び・夫婦和合・家庭円満・安産・育児・子孫繁栄・家運隆昌・社運隆昌・生業守護・厄除開運・延命長寿・病気平癒・傷病平癒・諸願成就・里の守護・里の繁栄

鎮座地

・旧　岐阜県管下美濃国土岐郡
　泉町三ノ輪七一六番地の一
・現　岐阜県土岐市
　泉中窯町一丁目三八番地

社格

・指定村社　明治六年一月十三日
・銀幣社　昭和三十四年六月十八日
・金幣社　昭和四十一年十月四日

伝承

孝助の嫁

その昔、三輪の森と呼ばれる木が生い茂る昼なお暗い大きな森があり、その森の中の大富池の北に親孝行で働き者の孝助が住んでいた。

早春の或る日に、池のそばの赤い小さな花をつけたハナノキの下でキツネが大きなトゲを足に刺して苦しんでいた。

それを見つけた優しい孝助は手当をしてそっと帰してやった。

翌年の秋、取り入れで疲れて休んでいた孝助の枕元に美しい娘がどこからともなくやって来て「どうか私を嫁にして下さい。」といって立っていた。

孝助は喜んで娘を嫁にし、ともに病気の母親を助けて孝養をつくした。

間もなく子供が生まれることになった。嫁は「私がよいというまで産屋をのぞいてはいけません。」と言った。

孝助は産まれた赤ん坊の元気な泣き声に我慢できず、戸のすき間からのぞいてしまった。孝助が約束を破ったため、嫁はもとの孝助が助けたキツネにもどり、自分がいなくても子供が元気に育つように、孝助に子守の金の棒を渡し、十八年後のハナノキのもとでの再会を約束して子供を残し消えてしまった。

その後、子供はすくすくと育ち、孝助一家は幸せとなり、再会の日を迎えた。孝助親子の待つハナノキのもとにうらぶれた白狐があらわれ「この木を私と思い大切にしてください。」とナンジャモンジャの苗をおくり去っていった。

そのナンジャモンジャはハナノキと共に白山神社の境内で立派に育ち国の天然記念物となり春にはこの伝承を語るように純白の花吹雪をちらしている。

ハナノキ

ヒトツバタゴ（ナンジャモンジャ）

●主なる祭典、年中行事

- 歳　旦　祭　　1月1日
- 左義長祭　　1月第2日曜日
- 建　国　祭　　2月第2日曜日
- 祈　年　祭　　2月第3日曜日
- 初　午　祭　　3月第2日曜日（土岐一稲荷神社の祭り）

初午祭（餅投げ）

- 日神子神社例祭　　5月第1日曜日
- 人形昇天祭　　6月第2日曜日
- 夏越大祓（茅の輪くぐり）
  土岐一稲荷神社夏祭り　7月最終日曜日（盆踊りも行われる）
- 例大祭　　10月第2日曜日

各町内単位の子供たちにより「神輿祭」がおこなわれています。社頭に町内の全ての神輿を並べ巫女舞奉納の後、神輿と参列者がお祓いをうけ、揃いの半纏鉢巻を締めた子供たちが担いだ神輿が町内を練り歩き大いに祭り気分を盛り上げています。

例大祭（巫女舞）

- 七五三祭　　11月14日・15日（若しくは15日前後土、日曜日）
- 新嘗祭　　11月23日
- 大富秋葉神社例祭　12月第2日曜日
- 年越大祓越年祭・篝火焚上神事　12月31日
- 月次祭　　原則第1・第3日曜日（境内社等のお祭りを順次斎行）

●御祈祷案内

個人の願意

良縁成就・神前結婚式・安産・初宮詣・七五三詣・学業成就・試験合格・厄年祓・還暦・喜寿等算賀・車両祓・交通安全・病気平癒・家内安全・除災招福・諸願成就・人形清祓（随時お預かりし人形昇天祭時に清祓いたします）

法人等の願意

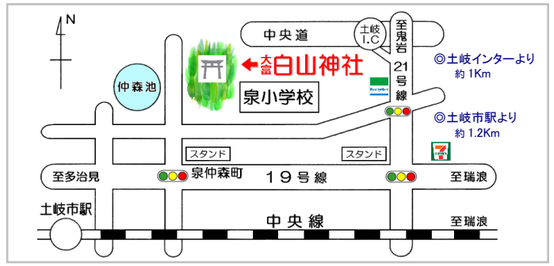
社運隆昌・事業安全・社員健康・商売繁盛・交通安全・除災招福

出張祭典

地鎮祭・上棟祭・竣工祭・創立記念祭・開店清祓・移転清祓・家屋清祓・社運隆昌祈願祭・目標達成祈願祭・神葬祭・年祭

※御祈祷は、ご予約が必要です。お電話等でご相談ください。

●交通案内



●お問い合わせ

大富白山神社 神泉殿（おおとみ しんせんでん）
〒509-5104 岐阜県土岐市泉中窯町1-38
TEL・FAX：0572-55-3771
大富白山神社 検索

※年中無休　受付時間：午前9時から午後3時（午後0時から午後1時まで除く）

境内社と末社

土岐一稲荷神社

祭　神：倉稲魂命
御神徳：五穀豊穣・産業守護・商売繁昌・家運隆昌・芸能上達
略　記：創建は文政６年（1823 年）12 月 16 日
　　土岐稲荷が土岐一稲荷といわれるようになったのは、
　　昭和の初め新聞による新十名所投票の時からである。

日神子神社

祭　神：日神子大神
御神徳：子供守護・家庭円満・家内安全・子孫繁栄・里の守護
略　記：往時は、大富上組、下組の守護神として主税町に祀られていたが、正徳３年（1713 年）白山神社の境内地であった仲森池辺に移され、その後、昭和 42 年（1967 年）現在地に移された。

大富秋葉神社

祭　神：火之迦具土神
御神徳：火難消除・厄除開運・家内安全・窯業守護・
　　工業守護・商売繁盛

●**金比羅神社**（左より）
祭　神:大物主神 ・ 崇徳天皇
御神徳:五穀豊穣・商売繁盛・航海、旅行安全・医薬守護・金運守護

●**内内神社**
祭　神:建稲種命・日本武命・宮簀姫
御神徳:五穀豊穣・家内安全・国家安泰

●**出雲大社**
祭　神:大国主命 ・ 事代主命
御神徳:縁結び・商工業守護・無病息災・招福開運

●**明妙見社**
祭　神:天之御中主神
御神徳:国家安泰・厄除開運・除災招福・延命長寿

●**大富天満宮**
祭　神:菅原道真公
御神徳:学業成就・受験合格・詩歌、文筆、芸能守護・農業守護

●金比羅神社 ●内内神社 ●出雲大社

●明妙見社 ●大富天満宮

●**御嶽神社**
祭　神：大己貴命 ・ 少彦名命
御神徳：豊穣招来・延命長寿・除災招福・医薬守護

●**山神神社**
祭　神：大山津見神
御神徳：農産、山林、鉱山業守護・豊穣招来・山の幸豊穣

●**秋葉神社**
祭　神：火之迦具土神
御神徳：火難消除・厄除開運・家内安全・窯業、工業守護・商売繁盛

●御嶽神社

●山神神社 ●秋葉神社

●**神明神社**
祭　神：天照皇大神
御神徳：国家安泰・国土安泰・子孫繁栄

●**御鍬大神宮**
祭　神：豊受気毘売神
御神徳：農業守護・五穀豊穣・衣食住守護

●**水天明王**
祭　神：水波能咩神
御神徳：灌漑用水守護・井戸守護・祈雨・止雨・安産・子育て・子供守護

●**三寶荒神**
祭　神：土祖神・興津彦神・興津姫神
（初めて火を起こし、物を煮て食べる事を教えられた神）
御神徳：鎮火・かまど守護・一切浄化・ガス、電気調理器守護

●神明神社 ●御鍬大神宮 ●水天明王 ●三寶荒神

国指定天然記念物の説明

享保5年(1720 年) 11 月建立
八代将軍徳川吉宗の時代

土岐市 金幣社 大富 白山神社

社宝など

●**市指定文化財 陶製「大狛犬」一対**
（昭和 44 年指定）
高さ 90 センチメートル　獅子型
享和元年辛酉（1802 年）
　妻木の名工　山本半右衛門作

●**市指定文化財 陶製「狛犬」一対**
（昭和 36 年指定）
高さ 35 センチメートル　ファラオ髪型
安永７年 戊 戌(1778 年)９月朔日
　木村興右衛門 寄進 同人作

●**花馬祭の馬具一式**
往時、例大祭には花馬祭行事が賑々しく行われていた。

●**白山神社棟札**
貞享３年 12 月吉日再建とある。

●「**白山神社のハナノキおよびヒトツバタゴ**」
国指定天然記念物（昭和 18 年ハナノキとヒトツバタゴの共生として認定）

●**十一面観音像**

平成５年、本堂の屋根を改修する際に、本殿に秘匿されていた十一面観音像が発見された。専門家の鑑定によれば、室町時代のものであろうとのことであった。

年代鑑定結果等より、この仏像は当時のこの地の守護神であった高田明神で祀られていたものではないかと推察され、甲州武田軍の侵攻により高田明神が焼失した際、村人が救い出したものではないかと考えられる。

その後、この地の守護神として白山神社が創建された際、元々この十一面観音像は、この地の守護神とともに祀られるべきものであるとの思いで村人が本殿の奥深く秘匿されたものと思われる。